

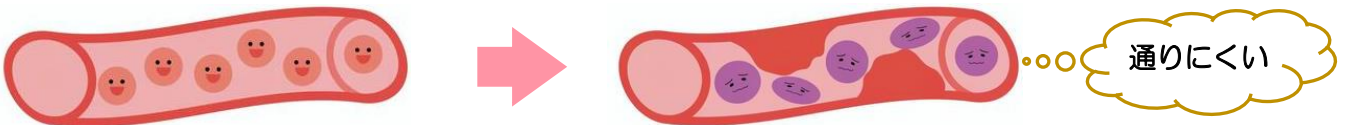
検査目的

頸動脈は脳に血液を送る首(頸部)の大切な血管であり、頸動脈超音波検査は全身の血管の**動脈硬化**の程度を反映すると言われています。

頸動脈超音波検査では、この血管内の**プラーク**や狭窄の有無を評価します。



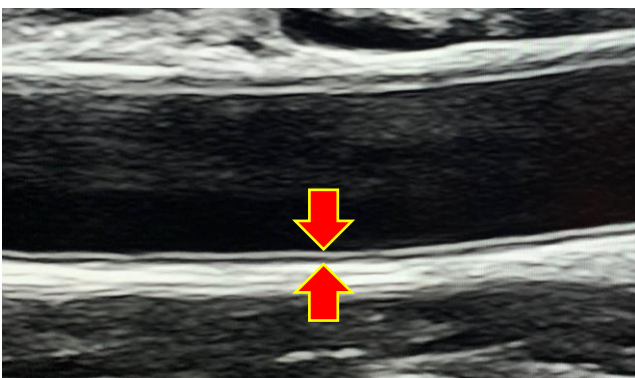
プラークとは血管の内側に中性脂肪などが蓄積したものです。放置することで動脈硬化を引き起こし、血液の通り道が狭くなったり、血管が硬く(石灰化)なってしまいます。



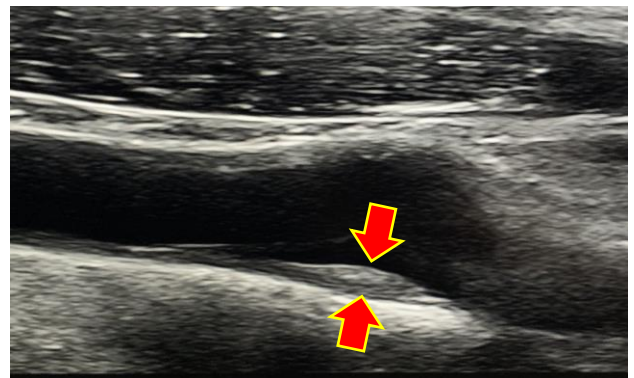
動脈硬化の評価

大動脈壁は内膜・中膜・外膜からなる3層で構成されています。このうち内膜と中膜を併せた厚さを IMT(内膜中膜複合体厚)といい、頸動脈における動脈硬化の指標として用いられています。この厚さが 1.1mm を超えると動脈硬化が進行している可能性が高いとされています。

正常な血管



IMT が肥厚した血管



動脈硬化が進行すると…

血管が狭くなったり詰まったりすることで**狭心症**や**心筋梗塞**、**脑梗塞**、**下肢閉塞性動脈硬化症**などを引き起こします。

また頭部の血管が破れてしまうと、**クモ膜下出血**などの危険もあります。

動脈硬化のリスクが高いのは
どのような方なのでしょう？



頸動脈エコーが推奨される方

動脈硬化の原因として下記の因子が考えられています。

- ・高血圧
- ・糖尿病
- ・脂質異常症
- ・喫煙習慣
- ・骨粗しょう症
- ・睡眠時無呼吸症候群
- ・過度の飲酒
- ・加齢



※検査は仰向けで首周りにゼリーを塗って検査をします。

痛みはなく、体への負担は少ない検査です。また食事による影響を受けないため、検査前に食事をして頂くことは可能です。



頸動脈エコーを受けることで**早期に動脈硬化の発見、進行の推測**をすることができます。

病気のリスクを知り、生活習慣の改善や適切な治療を行うことが重要です。